

めざせ
「健康寿命」日本一!

福島県民が

健康になるための シンポジウム2020

開催
日時

2020年 **2月9日**

開催
場所

福島テルサ FTホール

〒960-8101 福島県福島市上町4-25

開催時間/13:30~16:10

**入場
無料**

**定員
480名
(先着順)**

プログラム

13:00 開場

13:30~14:30 基調講演

演題 **健康長寿県
～長野県の実践例から～**

諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實氏

14:40~16:00 パネルディスカッション

テーマ **福島県が健康寿命
日本一になるために**

パネリスト

内堀 雅雄氏 福島県知事(出席予定)

鎌田 實氏 諏訪中央病院名誉院長

竹之下 誠一氏 福島県立医科大学理事長兼学長

コーディネーター

五阿弥 宏安 福島民友新聞社代表取締役社長



内堀 雅雄氏



竹之下 誠一氏

16:10 終了

東日本大震災後、生活環境等の変化により、福島県民の健康状態(指標)は悪化傾向にあり、この現状を踏まえ、福島県立医科大学と福島民友新聞社は連携協定を結び、福島県民の健康状態(指標)改善に向けた取り組み、健康キャンペーンを進めています。キャンペーンの一環として「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」を開催し、基調講演やパネルディスカッションを通して、福島県民の健康意識向上を図ります。

**基調講演
講師**

諏訪中央病院名誉院長

鎌田 實氏

東京医科大学歯学部卒業後、諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、潰れかけた病院を再生させた。「地域包括ケア」の先駆けを作り、長野県を長寿で医療費の安い地域へと導いた。(現在、諏訪中央病院名誉院長、地域包括ケア研究所所長) 一方、チェルノブイリ原発事故後の1991年より、ベラルーシの放射能汚染地帯へ100回を超える医師団を派遣し、約14億円の医薬品を支援(JCF)。東北はもとより全国各地の被災地に足を運び、多方面で精力的に活動中。ベストセラー「がんばらない」他、著書多数。



【主催】福島民友新聞社 【共催】福島県立医科大学

【協賛】JA共済連福島

【後援】福島県、福島市、(一社)福島県医師会、(公財)福島県保健衛生協会、(公社)福島県看護協会、(公社)福島県栄養士会、福島県食生活改善推進連絡協議会、NHK福島放送局、読売新聞社東京本社福島支局、福島中央テレビ、福島テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM

申込方法 詳細は裏面をご覧ください。

めざせ「健康寿命」日本一!

福島県民が健康になるための シンポジウム2020 参加申込

申し込み方法

シンポジウムの聴講を希望される方は、①氏名、②住所、③電話番号、④複数聴講の場合は同行者名を明記し、福島民友新聞社広告局「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」係へ、はがき、メール、ファックスでお申し込みください。
申込み先着順とさせていただきます。

はがきで
お申込み
はこちら

〒960-8648 福島市柳町4番29号
福島民友新聞社広告局
「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」係

メールで
お申込み
はこちら

koukoku1@minyu-net.com
※件名に「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」係」とご記入ください。

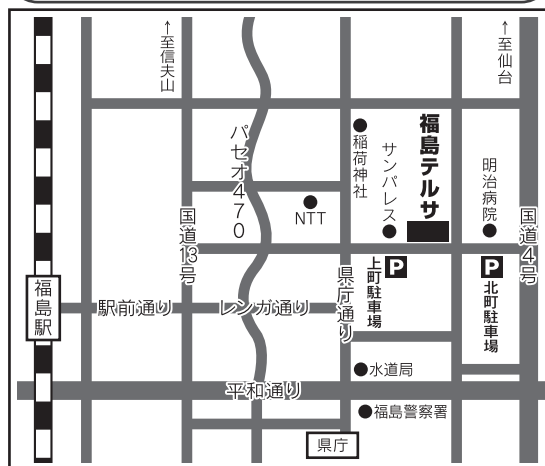
ファックスで
お申込み
はこちら

FAX:024-523-1681
※件名に「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」係」とご記入ください。

問い合わせ先

福島民友新聞社広告局
「福島県民が健康になるためのシンポジウム2020」係
TEL:024-523-1457(平日9:00~17:00 ※土日祝除く)
※ご来場の際は、公共交通機関等をご利用ください。

会場



福島テルサ FTホール
〒960-8101 福島県福島市上町4-25
TEL:024-521-1500

はがき記入例

〈表面〉

〒960-8648
福島市柳町4番29号 福島民友新聞社 広告局
「福島県民が健康になるための シンポジウム2020」係行

〈裏面〉

聴講希望者様の
①氏名
②住所
③電話番号
④他聴講者氏名 (複数可)

※ご応募いただいた個人情報には本事業の応募の目的以外には使用いたしません。